

平成 26 年 度

事業 報告 書

公益財団法人千葉市保健医療事業団

I 平成26年度事業概要

第1 事業活動の概要

地域住民の健康増進と地域医療の発展への寄与を基本目標に、千葉市の施策と市民ニーズを踏まえ、千葉市休日救急診療所の指定管理者として市民サービスの向上・経営の効率化を推し進めるとともに、救急医療確保対策等事業、看護師養成事業、健康づくり推進事業を実施した。

また、千葉市から総合保健医療センターの施設管理事業を受託した。

第2 事業内容

1 公益目的事業

(1) 千葉市休日救急診療所管理運営事業（指定管理事業）

千葉市医師会、千葉市歯科医師会、千葉市薬剤師会の協力のもと、救急患者を対象に、日曜日、祝日及び年末年始の昼間における初期診療を実施した。

また、ねたきり老人・心身障害者（児）の歯科診療を、原則として毎週木曜日に予約制により実施したほか、災害時における医薬品等の備蓄事業を実施した。

ア 休日救急診療実績

(ア) 診療科目別患者状況（診療日数 72日）

（単位：人）

区 分	内科	小児科	外科	整形外科	眼科	耳 鼻 いんこう科	歯科	合計	処方せん 枚 数
患者総数	7,169	6,583	1,811	2,804	1,287	2,586	916	23,156	18,641
1日平均	99.6	91.4	25.1	39.0	17.9	35.9	12.7	321.6	258.9
割合(%)	31.0	28.4	7.8	12.1	5.6	11.1	4.0	100	

(イ) 居住地別患者状況

（単位：人）

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑 区	美浜区	市 外	合 計
患者総数	5,171	2,733	3,697	2,830	2,007	3,721	2,997	23,156
1日平均	71.8	38.0	51.3	39.3	27.8	51.7	41.6	321.6
割合(%)	22.3	11.8	16.0	12.2	8.7	16.1	12.9	100

イ ねたきり老人・心身障害者（児）歯科診療実績

(ア) 対象別患者状況（診療日数 43日）

（単位：人）

区 分	ねたきり老人			心身障害者（児）			合 計
	男	女	計	男	女	計	
患者総数	109	95	204	299	139	438	642
1日平均	2.5	2.2	4.7	7.0	3.2	10.2	14.9

(イ) 居住地別患者状況

(単位：人)

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑 区	美浜区	合 計
ねたきり老人	25	30	24	53	5	67	204
心身障害者（児）	94	58	71	77	77	61	438
計	119	88	95	130	82	128	642
割 合（％）	18.5	13.7	14.8	20.3	12.8	19.9	100

ウ 調剤業務

休日救急診療及び寝たきり老人・心身障害者（児）歯科診療に伴う調剤業務を実施した。

エ 災害時医薬品等備蓄事業

千葉市地域防災計画に基づき、災害発生時における医療救護活動が迅速かつ円滑に行えるよう、地域の一拠点として医薬品・診療材料等の備蓄管理を行った。

(2) 救急医療確保対策事業（受託事業）

千葉市からの委託を受け、在宅による産婦人科当番医の確保、テレホンサービスによる診療案内及び休日や夜間等の救急患者に対応するための救急医療機関の確保を行った。

ア 産婦人科在宅当番医制

市内の産婦人科 3 1 医療機関の輪番により、7 2 日間の診療日数を確保した。

（受診患者数 412人、1 日当たり 5.7人）

イ テレホンサービス

区 分	電話番号	案内日数	案内総件数	1日平均件数
千葉市休日救急診療所	(244) 5353	72	8,830	122.6
産婦人科休日緊急当番医	(244) 0202	72	528	7.3
夜間外科系当番医療機関	(244) 8080	365	4,894	13.4

ウ 二次救急医療機関確保（病院群輪番制）

市内の病院の協力を得て、休日等及び毎夜間の二次医療機関を確保した。

(単位：施設)

区 分		内 科	小児科	外 科	整形外科	産婦人科	産 科
休日の二次救急医療機関	協力病院数	19	6	12	9	3	
	待機病院数	2	2	1	1	1	
夜間の二次救急医療機関	協力病院数	17	5				3
	待機病院数	2	1				1

エ 年末年始初期診療医療機関確保

9 施設の協力を得て、年末年始における内科の急病患者に対する初期診療の充実を図った。

オ 夜間外科系救急医療機関確保

夜間の急なケガや病気などの患者に対応するため、市内18医療機関の輪番により毎夜間・1 医療機関が午後 6 時から翌朝午前 6 時まで診療に当たっている。

また、処置困難な患者等の受入については、両市立病院をはじめ後方支援の確保を図り対応している。（受診患者数 11,753人）

患者数実績

(単位：人、日)

区 分	初期医療機関	後方支援病院 (両市立病院)	非当番協力 医療機関	三次医療機関	合 計
患 者 数	7,204	790	3,230	529	11,753
待機日数	365	394	365	365	—
1日平均	19.7	2.0	8.8	1.4	—

※初期医療機関が後方支援を同日に行った場合、初期医療機関に患者数を含めている。

(3) 看護師養成事業（自主事業）

平成27年3月に第1看護学科及び第2看護学科併せて73人が卒業。

第104回看護師国家試験に卒業生73人が受験し、73人全員が合格した。

市内就職率は第1看護学科が74.4%、第2看護学科が35.3%であった。

ア 卒業生数

学科名	入学時 学生数	単位未修得者		卒 業 生		
		退学者	留年者	現 役	留年者	合 計
第1看護学科	40人	1人	2人	37人	2人	39人
第2看護学科	36人	0人	4人	32人	2人	34人

イ 国家試験（新卒者）

第1看護学科			第2看護学科			全国平均	
受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	合格率	うち新卒者
39人	39人	100%	34人	34人	100%	90.0%	95.5%

ウ 進路状況

学科名	卒業 者		市 内		市 外		その他	県内計 (再掲)
			市立病院	他の医療 機関	県内	県外		
第1看護学科	39人	人数	16人	13人	6人	1人	3人	35人
		割合	41.0%	33.3%	15.4%	2.6%	7.7%	89.7%
		人数	29人		7人			
		割合	74.3%		18.0%			
第2看護学科	34人	人数	8人	4人	15人	6人	1人	27人
		割合	23.5%	11.8%	44.1%	17.7%	2.9%	79.4%
		人数	12人		21人			
		割合	35.3%		61.8%			

エ 入学試験

学 科		試 験 日	定員	応募者数	倍率	受験者数	合格者数	倍率
第1看護学科	推薦	平成26年10月25日	20人	55人	2.75倍	55人	20人	2.75倍
	一般	平成27年 1月24日	20人	123人	6.15倍	85人	23人	3.70倍
第2看護学科		募集停止	—	—	—	—	—	—

(4) 健康づくり推進事業（自主事業）

健康づくりの推進・普及啓発として、また、千葉市の「健康づくり週間」の一環として、平成26年10月18日に、健やか未来都市ちばプラン推進協議会、千葉市及び当事業団の共催により、「健やか未来都市をめざして まず10分、体を動かす時間を増やそう」をテーマに健康フェアを行った。

ア 健康フェア

“きぼーる”において、健康づくりに関する各種相談や指導・展示を主とするイベントを開催した。

《参加団体》 29団体

《入場者数》 2,330人（延7,259人）

《内 容》 ①健康相談 歯、薬、栄養、放射線、心の悩みや育児などの相談、女性の健康相談、ムシ・ムシ相談
 ②病気の予防 禁煙指導、体脂肪測定、血圧測定、生活習慣病、血管年齢測定、健口体操、骨密度測定（事前予約）、肺機能チェック、口臭測定
 ③食生活 食生活に関する指導、パネル展示、家庭内の食品衛生、包丁の基本技術指導、親子料理教室（事前予約）
 ④健康増進 チーバくんの健やかステージ、健康づくり大会ウォーク（事前予約）、10分でできる簡単健康エクササイズ、ツボ押し健康法、あなたの歩行年齢は？

(5) 救急医療知識の普及啓発事業（自主事業）

救急医療普及啓発用パンフレット（急病になったときのために）を作成し、千葉市各区消防署が9月に開催する救急フェアにおいて来場者に1,000部配布した。

(6) 訪問歯科診療事業（受託事業）

歯科診療の機会に恵まれない、ねたきり老人等の歯科診療を実施した。

予 診 者 数	訪問診療終了者数	協力医訪問延べ回数
31人	10人	29回

2 収益事業等

(1) 千葉県総合保健医療センター管理事業（受託事業）

千葉市から委託を受け、保健所、環境保健研究所、環境情報センター及び休日救急診療所等の複合施設である千葉県総合保健医療センターの施設管理を実施した。

本センターについては、建築後 22 年が経過し、設備機器等の老朽化が進んでいることから、予算の範囲内において、緊急性の高い消防用設備等の修繕を優先的に行ったほか、昨年度に引き続き館内の節電を実施するなど、経費の削減に努めた。

附 属 明 細 書

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条」に規定する附属明細書「事業報告書の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。